

## 第8回（平成27年3月期）番組審議会議事録

1. 開催日時 2015年3月25日（水）17:00～18:00
2. 開催場所 弊社会議室
3. 委員の出席  
委員総数 8名  
出席委員 7名 為岡務・山本幸男・木辻清子・宮川清・増田匡・高木邦子・平川愛恵（中村忠司委員、代理出席）  
欠席委員 1名 正岡健二  
放送事業者側出席者 金千秋・平野由美子
4. 議事  
番組審議  
第8回審議番組：「震災20年“あの日の思い！みんなの思い！”」（25分19秒）  
3月7日（土）「KOBEながたスクランブル」（12:00～14:00）放送の一部  
担当者：金千秋  
ゲスト：神戸市立真野（まの）小学校5年生 全24名  
内容：小学5年生の社会科授業「情報と社会」の単元に、地元のラジオ局として協力した。震災を語り継ぐということは長年行ってきたが、自らも話し手になる体験を通して、地域の小学生にも情報発信というラジオの役割や仕組みを理解してほしいと考えている。また、長田区真野地区にはベトナム人も多く住んでおり、日本語をまだスラスラと話せない子どももいて、音声編集で少し気を遣った点もある。
5. 議事の概要  
番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。
6. 審議内容  
6-1. 欠席者の審議紹介
  - ・ 音質・音量ともに良好である。子どもたちの話は落ち着いていて気楽に聴けるスピードであった。
  - ・ 震災の真実を伝えることは大変重要なことだと認識している。定期的に番組で取り上げる必要性を感じている。  
6-2. 出席者の審議
  - ・ とてもよい企画であった。単に親に聞いて文にするだけでなく、マイクの前でしゃべるのは小学生にとっては興奮する体験であろう。子どもらしい感覚を伝えることは子どもたちのためになる番組であるとともに、いろいろな形で「語り継ぐ」というよい企画である。
  - ・ 実際に体験した自分自身の目線ではしか震災を捉えてこなかったもので、全く知らない今時の子どもが語ることの新鮮さと内容、そして、彼らの親たちは震災時にまだ十代の小学生、中学生だったということに驚いた。
7. 審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月日  
担当者が放送事業者側として出席していたのでその場で意見交換。
8. 審議機関の答申または意見を公表した場合における公表内容、方法、年月日  
公表内容…議事の内容  
公表方法…自社放送（平成27年3月28日12:00～13:55の番組内で放送）  
事務所に議事録の備置き（平成27年3月28日）  
ホームページに掲載 <http://www.tcc117.org/fmyy/index.php?cl=13-98>
9. その他参考事項  
特になし